



東北地方の3月は記録的な高温・少雪

東北地方の3月の月平均気温は平年より3.3℃高く、1946年の統計開始以降、最高を更新しました。月降雪量も平年比2%にとどまり、1961年の統計開始以降、最少でした。

冬型の気圧配置が現れにくく、暖かい空気に覆われやすかったことから、3月の平均気温は、東北地方全体で平年より3.3℃高く、1946年の統計開始以降で最も高くなりました（これまでの最高は2020年の+2.6℃）。3月の降雪量は、東北地方全体で平年比2%にとどまり、1961年の統計開始以降で最も少なくなりました（これまでの最少は2020年の14%）。

平均気温は東北地方にある17地点の気象台と特別地域気象観測所の観測値、降雪量は16地点の観測値から算出しています。

詳しくは、下記URLより、「2021年3月の東北地方の天候」をご覧ください。

仙台管区気象台ホームページ 「2021年3月の東北地方の天候」

https://www.data.jma.go.jp/sendai/topic_old/21/20210401_03TukiGaikyoku.pdf



問合せ先：仙台管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課

担当：西村・金濱 電話：022-297-8177 FAX：022-291-8110



東北地方 2021年3月の天候 ＜記録的な高温・少雪＞

2021年4月1日

気象防災部 地球環境・海洋課

3月の気温・降水量・日照・降雪量 (地点別)

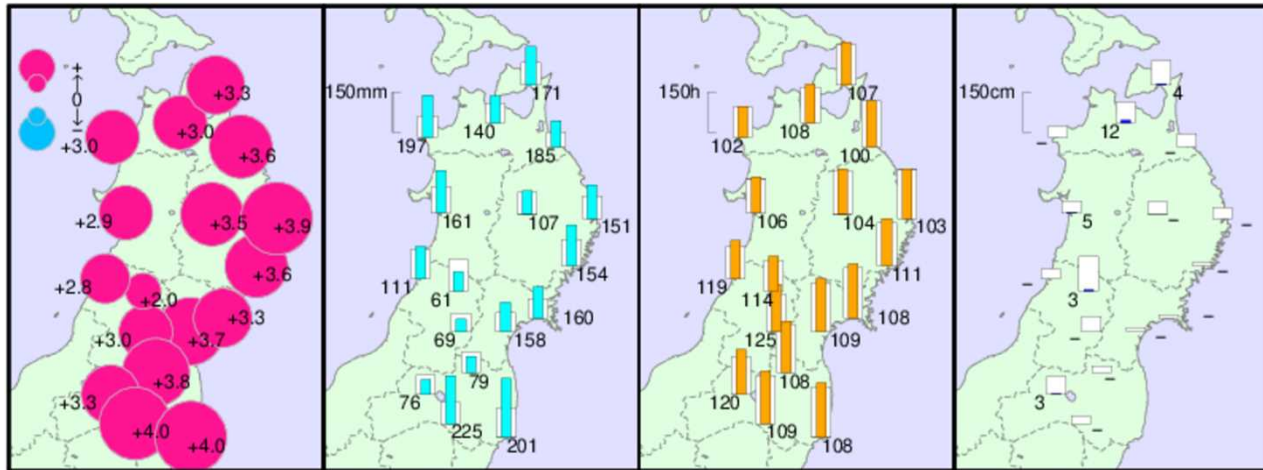


平均気温平年差(°C)

降水量平年比(%)

日照時間平年比(%)

降雪量平年比(%)



地域	平均気温 平年差(°C)	降水量 平年比(%)	日照時間 平年比(%)	降雪量 平年比(%)
東北地方	+3.3(++)	142(++)	109(+)	2(--)
東北日本海側	+2.9(++)	116(0)	113(+)	3(--)
東北太平洋側	+3.7(++)	159(++)	107(+)	0(--)
東北北部	+3.4(++)	158(++)	105(+)	3(--)
東北南部	+3.3(++)	127(+)	113(+)	1(--)

3月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 °C	平年差 °C	これまでの最高 °C (西暦年)	開始年	平年値 °C
1	大船渡	7.4	+3.6	6.8 (2018)	1964	3.8
	若松	6.6	+3.3	5.8 (2020)	1954	3.3
	深浦	5.9	+3.0	5.2 (2020)	1940	2.9
	青森	5.4	+3.0	5.1 (2020)	1882	2.4
	むつ	5.1	+3.3	4.5 (2020)	1935	1.8
	八戸	6.3	+3.6	5.1 (2018)	1937	2.7
	秋田	6.5	+2.9	6.4 (2020)	1883	3.6
	盛岡	5.7	+3.5	4.8 (2020)	1924	2.2
	宮古	7.2	+3.9	6.0 (2020)	1883	3.3
	酒田	7.4	+2.8	7.2 (2020)	1937	4.6
	山形	6.5	+3.0	6.1 (2020)	1890	3.5
	仙台	8.6	+3.7	7.5 (2020)	1927	4.9
	石巻	7.4	+3.3	6.7 (2020)	1888	4.1
	福島	9.1	+3.8	7.8 (2018)	1890	5.3
白河	7.9	+4.0	6.4 (2018)	1940	3.9	
小名浜	10.6	+4.0	9.0 (2018)	1911	6.6	
2	新庄	4.2	+2.0	5.2 (2020)	1958	2.2

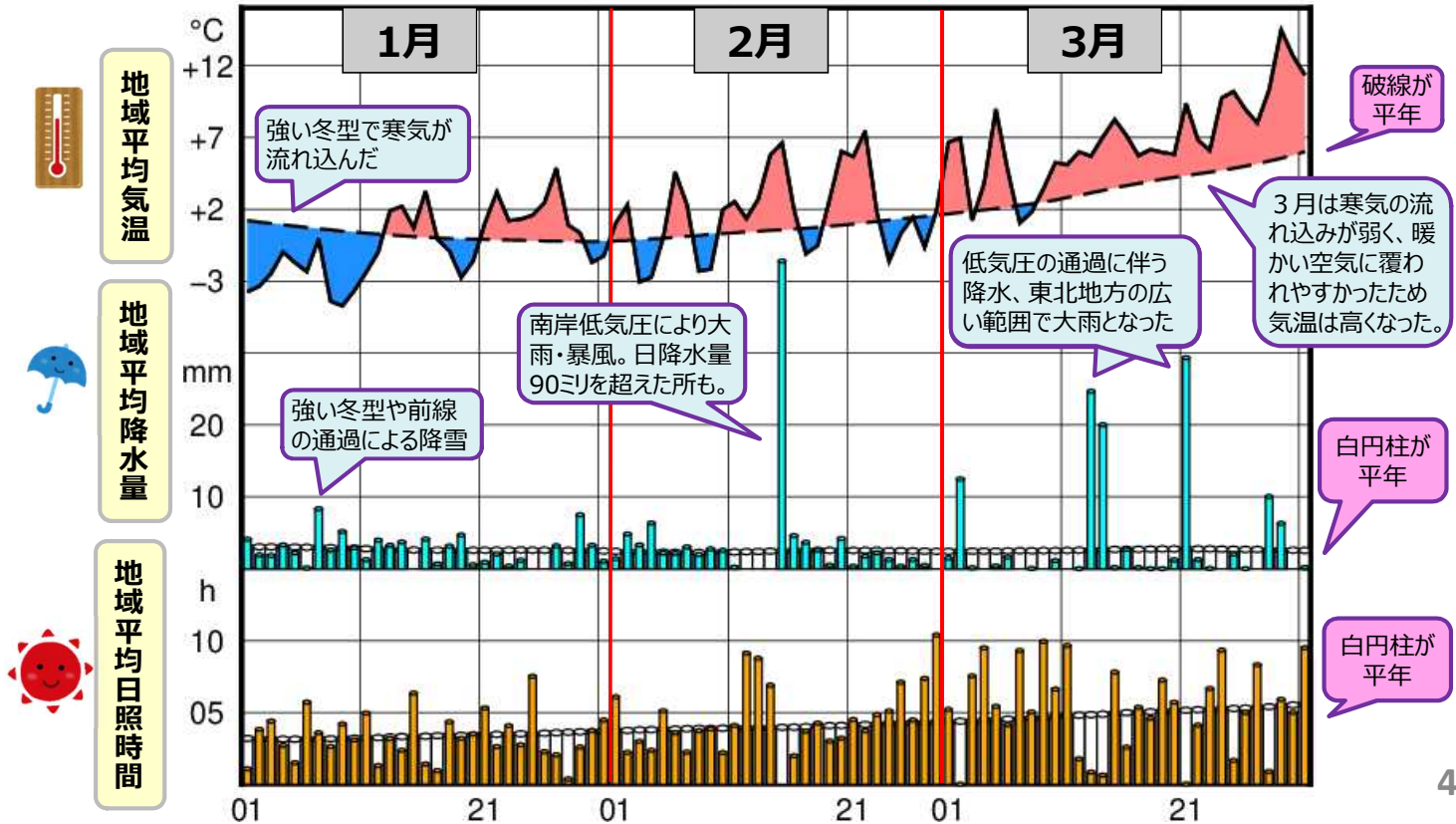
3月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	白河	176.0	225	167.5 (2018)	1940	78.2

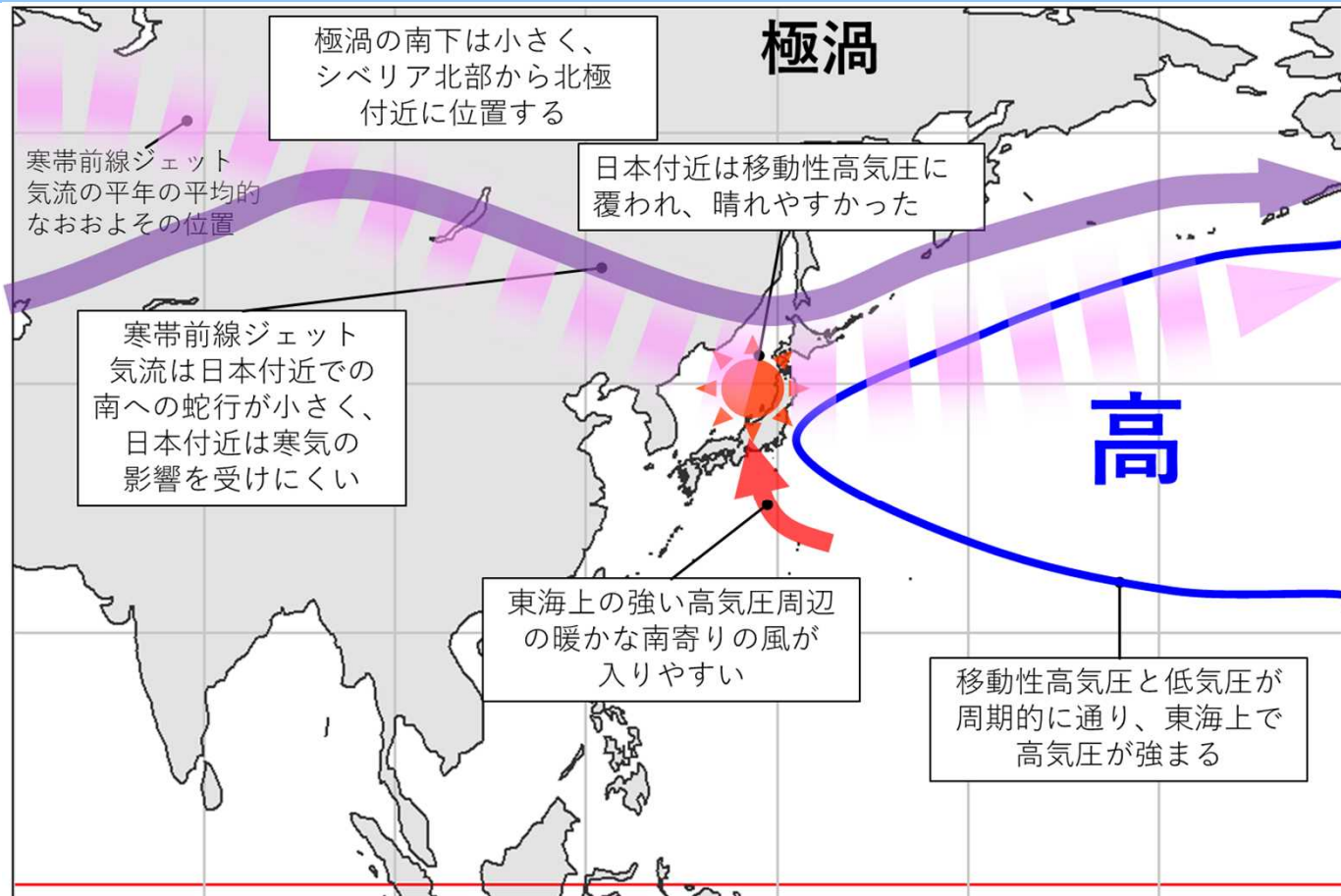
1～3月の気温・降水量・日照の推移（東北地方）



- 3月は暖かい空気に覆われやすく気温は高くなった。
- 低気圧の通過時に大雨となったため降水量は多くなった。



2021年3月の大気の流れ ～記録的高温～



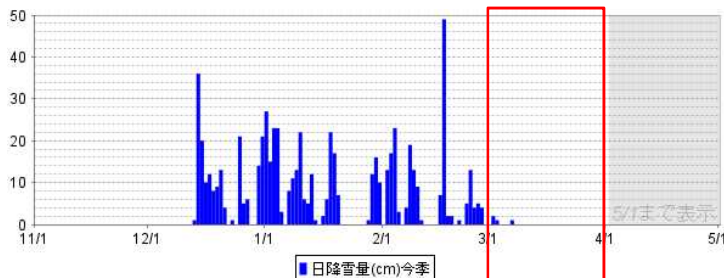
2021年3月の大気の流れの特徴（北・東・西日本で記録的な高温）

※3/1-28のデータから作成

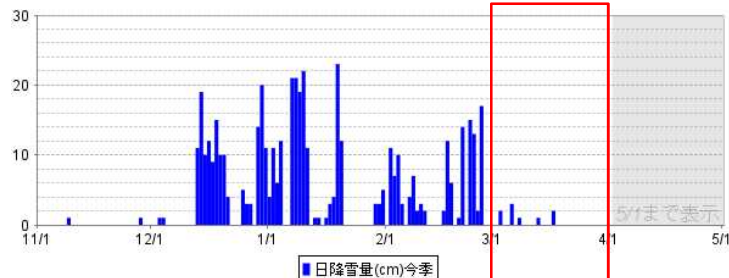
東北地方の積雪の状況(4月1日9時時点)

降雪の推移

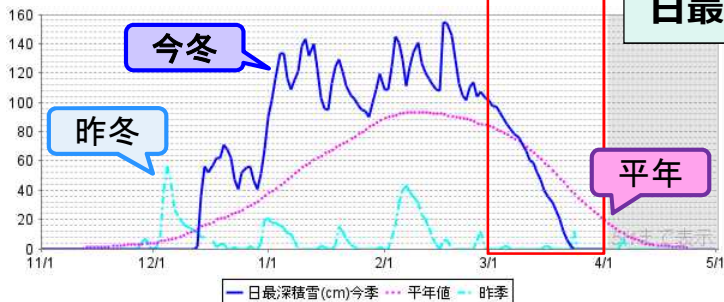
新庄 2020/11/1～2021/4/1 9時



青森 2020/11/1～2021/4/1 9時



日最深積雪



- 東北地方の3月の降雪量は平年比2%と1位を更新(これまでの1位は2020年の14%)
3月は気温が高く推移したため、雪ではなく雨で降ることが多かった。
このため、2月まで平年を上回っていた日最深積雪は3月から東北地方の多くの地点で顕著に減少した。

2021年3月の東北地方の天候

- 東北地方の月平均気温は、3月として1946年以降最も高かった。
- 東北地方の月降雪量は、3月として1961年以降最も少なくなった。
- 東北太平洋側では低気圧の影響を受け、月降水量はかなり多くなった。

概況

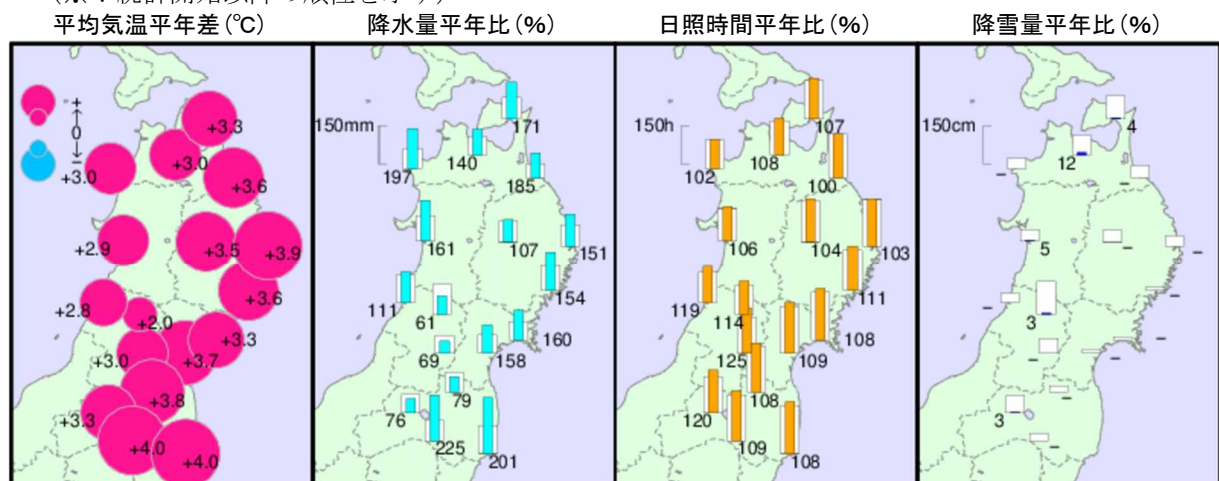
高気圧や低気圧、前線が交互に通過したため、天気は数日の周期で変わった。低気圧が発達しながらたびたび通過したため、東北太平洋側の月降水量はかなり多くなった。北からの寒気の流れ込みが弱く、暖かい空気に覆われやすかったため、気温は高い日が多く、雪が降る日は少なかった。月平均気温は東北地方で平年差+3.3℃と、3月としては1946年以降で1位*の高温となった(これまでの1位は2020年の+2.6℃)。月降雪量は東北地方で平年比2%と、3月として1961年以降で少ない方から1位*の記録を更新した(これまでの1位は2020年の14%)。

地点別の月平均気温は、青森、八戸、むつ、深浦、秋田、盛岡、宮古、大船渡、山形、酒田、仙台、石巻、福島、小名浜、若松、白河で3月として高い方からの1位*を記録した。29日は日最高気温では石巻で20.7℃、新庄で21.0℃、福島で25.2℃と3月として高い方からの1位(石巻は1941年3月21日と1位タイ*)を記録したほか、日最低気温ではむつで8.3℃、盛岡で10.4℃、大船渡で11.3℃、宮古で11.6℃、仙台で12.0℃、若松で9.9℃、小名浜で13.9℃と高い方からの1位*を記録した。30日は日最低気温が石巻で11.4℃と高い方からの1位*を記録した。地点別の月降水量は、白河で3月として多い方からの1位*を記録した。

2日は低気圧や前線の影響により青森県と福島県で大雨となった所があった。13日から14日にかけては、低気圧が発達しながら三陸沖を北上したため、東北太平洋側を中心に各県で大雨となった所があり、13日は福島県、14日は岩手県でそれぞれ日降水量が100mmを超えた所があった。また、14日は青森県で大雪となった所があった。低気圧や前線の影響により、21日は各県で29日は福島県で大雨となった所があった。

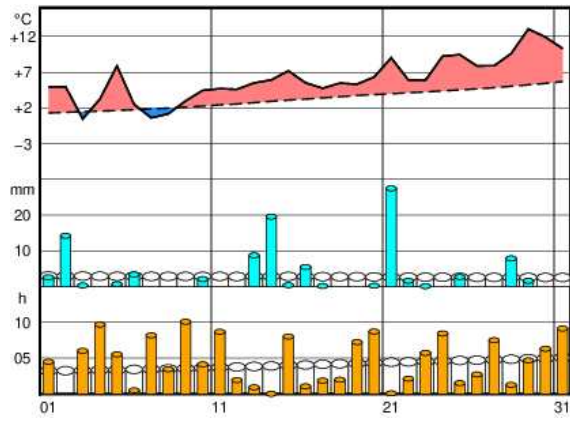
月平均気温はかなり高い。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は多い。月降雪量はかなり少ない。

(※：統計開始以降の順位を示す)

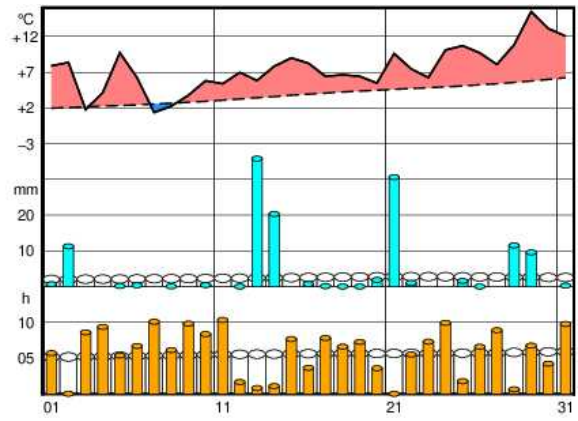


平均気温の平年差、降水量・日照時間・降雪量の平年比の分布

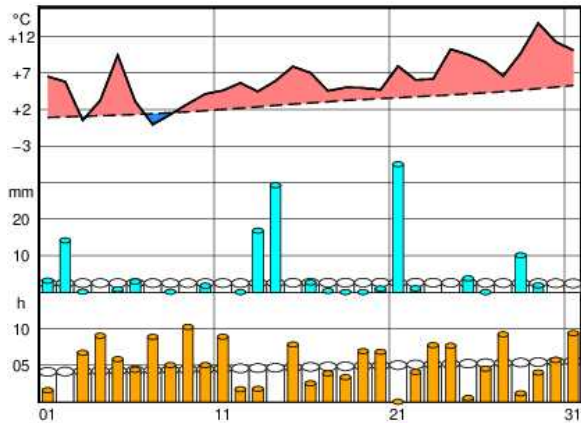
地域	平均気温 平年差(℃)	降水量 平年比(%)	日照時間 平年比(%)	降雪量 平年比(%)	()内は階級 +: 高(多)、++: かなり高(多) 0: 平年並 -: 低(少)、--: かなり低(少) 図中白四角は平年値、棒グラフは実況値。スケールは降水量(mm)と日照時間(h)と降雪量(cm)
東北地方	+3.3(++)	142(++)	109(+)	2(--)	
東北日本海側	+2.9(++)	116(0)	113(+)	3(--)	
東北太平洋側	+3.7(++)	159(++)	107(+)	0(--)	
東北北部	+3.4(++)	158(++)	105(+)	3(--)	
東南北部	+3.3(++)	127(+)	113(+)	1(--)	



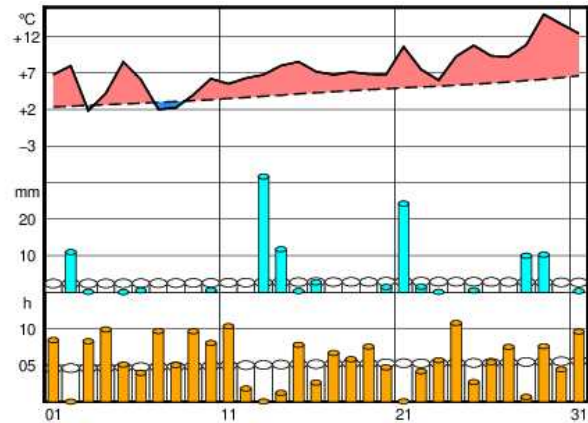
3月
東北日本海側



3月
東北太平洋側



3月
東北北部



3月
東北南部

平均気温、降水量、日照時間の経過

左上は東北日本海側、右上は東北太平洋側、左下は東北北部、右下は東北南部の気象官署の観測値と平年値の地域平均。気温は折れ線が観測値、点線が平年値。降水量と日照時間は色円柱が観測値、白円柱が平年値。

注意事項

気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の本日午前中までの修正を含む観測値より求めている。このうち、降雪量については、小名浜を除く16地点より求めている（速報値）。

細分地域を東北日本海側は青森県津軽・秋田県・山形県・福島県会津、東北太平洋側は青森県下北・三八上北・岩手県・宮城県・福島県中通り・浜通り、東北北部は青森県・秋田県・岩手県、東北南部は宮城県・山形県・福島県としている。

気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表す。平年値の統計期間は1981～2010年である。階級区分は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には「かなり高い（多い）」「かなり低い（少ない）」と表現している。

2021年3月の極値・順位の更新（順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。）

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	大船渡	7.4	+3.6	6.8（2018）	1964	3.8
	若松	6.6	+3.3	5.8（2020）	1954	3.3
	深浦	5.9	+3.0	5.2（2020）	1940	2.9
	青森	5.4	+3.0	5.1（2020）	1882	2.4
	むつ	5.1	+3.3	4.5（2020）	1935	1.8
	八戸	6.3	+3.6	5.1（2018）	1937	2.7
	秋田	6.5	+2.9	6.4（2020）	1883	3.6
	盛岡	5.7	+3.5	4.8（2020）	1924	2.2
	宮古	7.2	+3.9	6.0（2020）	1883	3.3
	酒田	7.4	+2.8	7.2（2020）	1937	4.6
	山形	6.5	+3.0	6.1（2020）	1890	3.5
	仙台	8.6	+3.7	7.5（2020）	1927	4.9
	石巻	7.4	+3.3	6.7（2020）	1888	4.1
	福島	9.1	+3.8	7.8（2018）	1890	5.3
	白河	7.9	+4.0	6.4（2018）	1940	3.9
小名浜	10.6	+4.0	9.0（2018）	1911	6.6	
2	新庄	4.2	+2.0	5.2（2020）	1958	2.2

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm（西暦年）	開始年	平年値 mm
1	白河	176.0	225	167.5（2018）	1940	78.2

月平均気温低い方から、月降水量少ない方から、月間日照時間多い方から、月間日照時間少ない方から、降雪の深さ月合計値多い方から、月最深積雪大きい方からの順位更新の3位以内はなし。

- （注）・値の横に]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。
- ・平年値とは1981～2010年の30年間の値を平均したものである。

2021年3月の月気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値)階級		最深積雪(平年値)階級						
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)					
青森	5.4	(+3.0)	++	98.0	(140)	+	10	140.7	(108)	○	9	(76)	-*	65	(80)	○
深浦	5.9	(+3.0)	++	154.0	(197)	++	11	112.7	(102)	○	-	(40)	-*	1	(26)	-*
むつ	5.1	(+3.3)	++	140.5	(171)	++	15	157.0	(107)	+	4	(89)	-*	29	(49)	-
八戸	6.3	(+3.6)	++	96.0	(185)	++	8	167.8	(100)	○	-	(47)	-*	-	(19)	-*
秋田	6.5	(+2.9)	++	155.5	(161)	++	12	131.7	(106)	○	2	(43)	-*	2	(17)	-*
盛岡	5.7	(+3.5)	++	86.5	(107)	○	8	167.6	(104)	+	-	(46)	-*	-	(21)	-*
大船渡	7.4	(+3.6)	++	151.0	(154)	+	8	174.9	(111)	+	-	(13)	-*	-	(6)	-*
宮古	7.2	(+3.9)	++	124.0	(151)	+	7	183.2	(103)	○	-	(40)	-*	-	(19)	-*
仙台	8.6	(+3.7)	++	107.5	(158)	+	7	193.8	(109)	+	-	(14)	-*	-	(7)	-*
石巻	7.4	(+3.3)	++	114.0	(160)	+	9	199.4	(108)	+	-	(11)	-*	-	(8)	-*
山形	6.5	(+3.0)	++	47.5	(69)	-	6	174.9	(125)	++	-	(57)	-*	3	(24)	-*
新庄	4.2	(+2.0)	++	71.0	(61)	-	10	127.9	(114)	+	4	(126)	-*	101	(92)	○
酒田	7.4	(+2.8)	++	118.5	(111)	○	11	140.0	(119)	+	-	(35)	-*	-	(13)	-*
福島	9.1	(+3.8)	++	59.5	(79)	○	6	188.7	(108)	+	-	(24)	-*	-	(9)	-*
若松	6.6	(+3.3)	++	54.5	(76)	-	8	165.2	(120)	++	2	(66)	-*	15	(28)	○
白河	7.9	(+4.0)	++	176.0	(225)	++	7	192.0	(109)	+	-	(27)	-*	-	(10)	-*
小名浜	10.6	(+4.0)	++	216.0	(201)	++	7	200.0	(108)	+	()	()	()	()	()	()

注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「) や]」がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

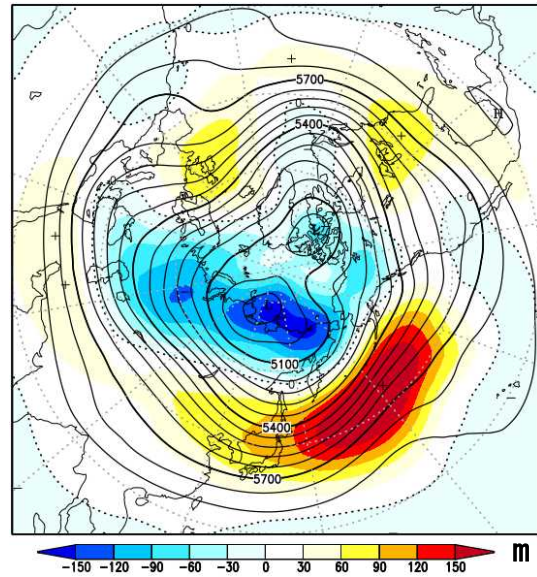
循環場の特徴

500hPa 高度は、本州付近はアリューシャンの南を中心とした東西に広く、平年より高度の高い領域に覆われた。一方、シベリア付近には極渦*の一部があつて、平年より高度が低くなった。このため、日本付近は北からの寒気が流れ込みにくく、暖かい空気に覆われやすかった。

850hPa 気温は、中国東北区から日本付近まで平年より高く、暖かい空気が流れ込み気温が高かったことと対応している。

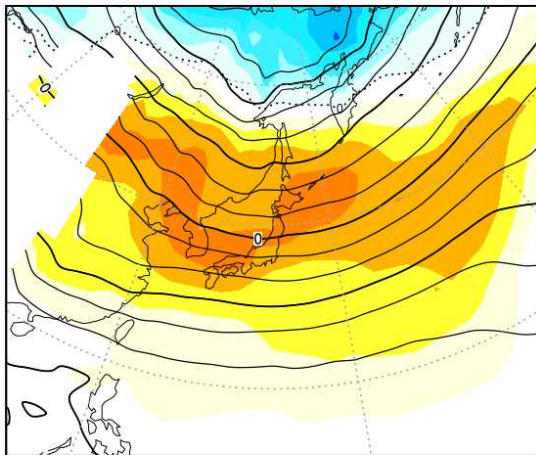
海面気圧は、日本の東海上を中心に日本付近にかけて平年より高く、高気圧周辺の暖かな南寄りの風が入りやすかった。

※北極付近の上空に形成される低圧部のこと。



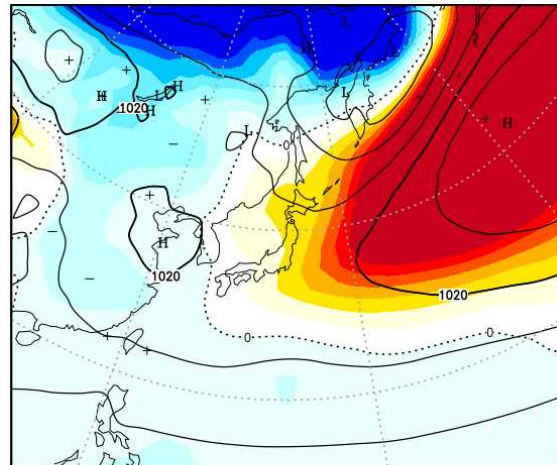
2021年3月の平均500hPa高度

実線は高度(m)、間隔60m。陰影は平年偏差(m)、間隔30m。負偏差は一般に寒気に対応し、正偏差は一般に暖気に対応する。



2021年3月の平均850hPa気温

実線は気温(°C)、間隔3°C。陰影は平年偏差(°C)、間隔1°C。負偏差は寒気に対応し、正偏差は暖気に対応する。



2021年3月の平均海面気圧

実線は海面気圧(hPa)、間隔4hPa。陰影は平年偏差(hPa)、間隔1hPa。

平年値の更新について

- 1991～2020年の観測値による新しい平年値を作成しました。
- 新平年値は、令和3年5月19日から使用します。
- 新平年値では現平年値と比べ、気温は高くなっています。冬の降雪量は減少しています。

詳しくは令和3年3月24日気象庁報道発表資料をご覧ください。

月ごとに発表している「東北地方の天候」では、6月1日発表のものから新平年値を使用します。